

総 括 質 疑 並 び に 一 般 質 問

【質問日】 令和7年3月5日（水）

【個人質問】

質問 順位	質 問 者	質 問 事 項
11	山 中 真 由 美	1 国際的な教育プログラム導入と英語力向上について (1) 高知県香美市立香北中学校への国際バカロレア（以下IBとする）の視察について、どのような視察内容であったか伺う。 (2) IB導入に至るまでの背景や経緯について、市教育委員会としてどのように感じたか。 (3) 実際にIBを導入している香北中学校の授業の様子と、生徒の様子はどうかであったか伺う。 (4) IB科目と学習指導要領の関係についてどのように捉えたか伺う。 (5) IB教育推進コンソーシアムが鹿児島で開催されたが、参加後の見解を伺う。 (6) IB教育を視察し今後どのような協議がなされるのか。 (7) 英国語学研修事業が開始されるが、対象になる生徒とその選考基準はどのようにになるか。 (8) 今後、グローバル化に対応した資質・能力を育成する必要性を感じるが、今回の視察やコンソーシアム参加を経て、教育長として今後の方向性をどのように捉えているか伺う。 2 川内駅東口側公設ゴミステーションの管理について (1) 公設ゴミステーションの酷いありさまが目立ってきているが、近隣住民からの苦情や要望は聞いているか伺う。 (2) どのように対応してきたか。 (3) 適切な管理と増設が必要と思うが当局の見解を伺う。
12	松 澤 力	1 児童生徒の地域スポーツ環境の改善に向けて (1) 本市の中学校の部活動数の現状について伺う。 (2) 部活動環境の改善に向けた本市における各中学校間の連携について伺う。 (3) 中学校の部活動の地域移行について ア 本市で設立された「人材バンク」の現状や地域指導者数の推移を伺う。 イ 総合型地域スポーツクラブ（川内スポーツクラブ01）と、薩摩川内市スポーツ協会やスポーツ推進委員等がより連携した地域移行の取組を検討できないか伺う。 ウ 地域指導希望者の契約方法の現状と中学教員で地域指導者を希望する方への対応を伺う。 エ 部活動の地域移行による保護者の費用負担の状況について伺う。 オ 地域移行に関する全国の事例が掲載されている雑誌「みんなのスポーツ」の、関係者への情報提供について伺う。 2 川内川と河川敷を最大限活用した本市の活性化に向けて (1) 本年6月に予定されている4年に一度の「川内レガッタ」早稲田大学・慶応義塾大学の現役選手による対抗戦「早慶対校エイト」に向けた取組について

		ア 対抗戦に向けて市外からの交流人口増や市内の盛り上げを高めていくための広報・企画等について伺う。 イ 本市の早慶エイトの運営支援について伺う。 ウ 宿泊・飲食・交通等、地元の経済効果を高めていくための方法を検討できないか伺う。 (2) 川内川と河川敷の整備・活用の推進について ア 大小路河川敷（了忍寺側）の今後の舗装や車両出入口の改善の方向性を伺う。 イ 天辰河川敷の市民のスポーツ利用の方向性を伺う。 ウ 若い世代に人気があるスケートボード・パルクール等の練習場を設置する検討ができないか伺う。 (3) 兵庫県加古川市等の「かわまちづくり」の取組を参考に、更に川内川や河川敷の利活用を進め、音楽・飲食フェスや子どもたちのレガッタ体験・たこ揚げ大会・モルック大会など、川内川と河川敷を一体的に親子3世代で安全に親しめるイベントの検討ができないか伺う。 3 本市の更なる経済活性化・若い世代の移住定住に向けて (1) 新たな商業施設誘致の取組について伺う。 (2) 熊本県御船町のコストコ誘致の取組等を参考に、本市もコストコ、イオンモール、無印良品等の店舗やアウトレットモール等、若い世代により魅力ある商業施設の誘致を検討できないか伺う。 (3) 鹿児島県では男性より女性が多く県外へ転出しているという2023年のデータがあるが、特に若い女性の移住定住増につなげていくため、まちづくりをどのように進めていく方針か、市長の考えを伺う。
13	井上勝博	1 物価高騰対策として財政調整基金を活用すべき (1) 市民の暮らしをどうみるか。 (2) 市の対策は不十分ではないか。 2 南海トラフ地震と川内原発の重大事故について (1) 南海トラフ地震と川内原発事故が重なったことを想定した広域的な防災訓練を国に提言するつもりはないか。 (2) オフサイトセンターに職員が参集できないということは想定されているか。 (3) オフサイトセンターが使えなくなった時の移動訓練が必要ではないか。 (4) オフサイトセンターの機材が地震によって壊れる可能性はないか。 (5) 屋内退避時にエアコンを使えないので、高齢者や体力のない人など長時間は耐えられなくなる場合も想定すべきではないか。 3 会計年度任用職員制度について (1) 正規雇用職員は男性が多く、会計年度任用職員は女性が多いことに関する市長の見解は (2) 会計年度任用職員の3年目公募に関し、元となった期間業務職員（国家公務員）の公募についてはどういう扱いであったか。 4 職員の労働環境について (1) 窓口の準備・後片付けなどにかかる時間を考慮して窓口は8時45分から17時までにするなどではないか。 (2) 平日・休日の時間外勤務時のエアコン使用は (3) 休日出勤の代休取得と時間外手当を100%支給していると言えるのか。 5 多胎児家庭への支援として、ミルクやオムツ等の消耗品購入に対する費用

		補助はできないか。 6 障害児通所支援制度について (1) 県内市町村の本人負担はどうなっているか。 (2) 無償にした場合の市の負担はどれだけ増えるか。 (3) 本人負担をなくすべきではないか。
14	福田俊一郎	1 財源の確保について (1) 財源の確保について市長の見解を求める。 (2) 基準財政需要額と決算の乖離は (3) 普通交付税措置のない市単独事業の主なものとその総額は (4) 本市の行政需要に応じた普通交付税が交付されるための国への対応は 2 子どもに係る国民健康保険税均等割の減免は 3 国直轄の新たな高規格道路の構想について (1) 南九州西回り自動車道の本市への効果は (2) 事業期間中の経済効果は (3) 阿久根川内道路供用開始の見込みは (4) 国土交通省道路局直轄の新規事業の構想を 4 都市計画区域内における諸問題の対応について (1) 農地転用による宅地化の状況は (2) 農業用水路に流す浄化した生活排水への対応は (3) 県営湛水防除事業地内に住宅が建設されることへの対応は
15	成川幸太郎	1 次世代エネルギーについて (1) 次世代エネルギーのまち・地域戦略ビジョンは平成36年に当たる令和6年度までであったが、このビジョンでの取組課題、基本方針と取組内容についての進捗をどのように捉えているか。 (2) 今後の次世代エネルギーへの取組はどのようにしていくのか。 (3) 予定される蓄電池産業を考えると、豊富なエネルギーの確保が更になされるが、ワットビット連携構想に取り組むことは考えられないか。 (4) 国の第7次エネルギー基本計画が閣議決定されたが、この計画の中から本市で取組を考えるようなテーマがあるか。 (5) 第7次エネルギー基本計画の中の再生可能エネルギー導入における課題に対し、ペロブスカイト太陽電池については、2040年には約20GWの導入を目標とするとされたが、本市ではどのように対応するか。 2 令和7年度予算事業について (1) 薩摩川内音楽祭事業は、令和6年度市誕生20周年記念事業として行われた、次世代を担う若者とアーティストによる市民参加型の新規イベントであるが、継続事業となっていくのか。 (2) 向田公園遊具施設整備事業では、センノオトとの一体的な利用を図るとあるが、センノオトとの往来についてどのように考えているのか。 (3) SDGs チャレンジ推進事業におけるサーキュラー都市ブランディングプロジェクトとはどのようなことをするのか。また、その費用はどの程度になるのか。 (4) 空家対策について ア ゼロ予算事業のふるさと空家見守りサービスとはどのようなことをするのか。 イ 「空き家の手引き」はどの程度作成するのか。